

平成30年度 消費生活センター主要事業

1 啓発物品（A5クリアファイル）配付

高齢者実態調査（5月～6月）に合わせ、75歳以上の高齢者世帯に消費生活センターの相談業務、消費者トラブル及び市役所コールセンターの周知を図ることを目的として、地域での見守り活動を行う民生委員の協力の下、啓発物品を配布した。（114,000枚）

また、平成31年度に配布する啓発物品（印鑑マット）については30年度中に作成する。

2 学校における消費者教育の推進

平成28年度に作成した特別支援学級向け教材の活用を含め、学校における消費者教育を推進するため、消費生活センターにて消費者教育コーディネーター（教員OB）を雇用し、特別支援学級を含めた学校の支援等を実施した。

【主な実施内容】

- ・小学校・中学校の授業支援
- ・教育センター主催研修における講師
- ・夏休み講座「お金って、たいせつ？お金のしくみと買い物」企画・運営
- ・消費者教育教材の検討 等

3 消費者月間（5月）における啓発

消費生活センターの周知や啓発のため、5月に啓発活動や記念講演会を実施した。

日程	内容	備考
5月12日（土） ～18日（金）	生涯学習センターにおける消費者団体・庁内関係課等によるパネル展示	
5月26日（土）	「パラスポーツ大会応援イベント go! together! みんな一緒に共生する未来」における啓発	
5月30日（金）	消費者月間記念講演会 テーマ① エシカル消費 テーマ② 健康に役立つ食生活～生活習慣病の予防に向けて～	22名の参加

4 関東甲信越ブロック悪質商法被害防止共同キャンペーン

9月は高齢者・障害者を対象に悪質商法に関するリーフレットの配布や特別相談、悪質商法等被害防止講演会を実施した。また、1～3月は若者を対象に悪質商法に関するリーフレットの配布等、啓発を実施した。

(参考) 悪質商法等被害防止講演会実績

日程	会場	参加者数	【再掲】参加者数 (障害者及びその関係者)
9月20日(木)	小中台公民館	46人	17人
9月25日(火)	松ヶ丘公民館	24人	9人
10月2日(火)	幕張公民館	23人	10人
合計		93人	36人

※講演は千葉県警職員及び消費生活センター相談員の講話による2部構成。障害者自立支援課の協力により障害者に対する周知も行い、手話通訳者・要約筆記者を各会場に配置した。

5 消費者サポーター養成講座

成年後見制度や傾聴を学び見守りについて考える講座を開催した。(定員40人のところ39人が参加した。)

開催日：平成31年1月17日(木)

時限	時間	テーマ	講師
1	13:30～14:30	成年後見制度の概要	千葉市成年後見支援センター 講師
2	14:40～16:40	傾聴<入門編Ⅱ>	澤村直樹氏(アクティヴリッスン)

6 消費生活講座「今から考える人生100年時代の資産形成」の開催

NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会千葉支部、千葉市生涯学習センターと共催で講演及びファイナンシャル・プランナーによる相談会を実施した。

(講演会78人、相談会9組)

7 巡回講座

各団体の依頼に基づき実施。

実施場所	実施回数	参加者数(人)
町内自治会等	13	264
いきいきプラザ等	38	537
学校	4	223
その他	3	36
合計	58	1,060